

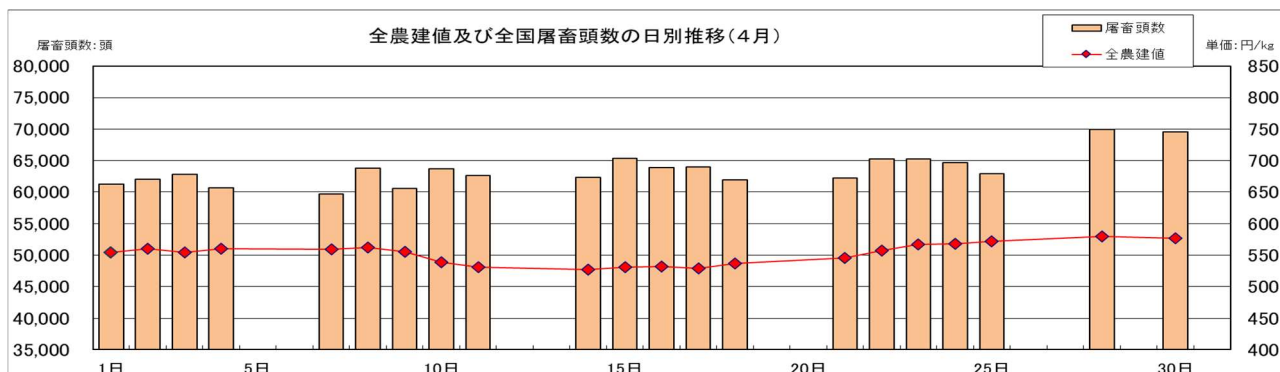
肉豚インフォメーション（4月）

●4月の動向

2025年4月（税抜）	2024年4月（税抜）
552 円/kg（9 円安）	561 円/kg

※全農建値

例年需要期の4月で、屠畜頭数が6万頭を割り込む日もあったが、消費者の節約志向からか末端の荷動きは鈍く、相場は550円を下回る日もあり、軟調な展開となった。

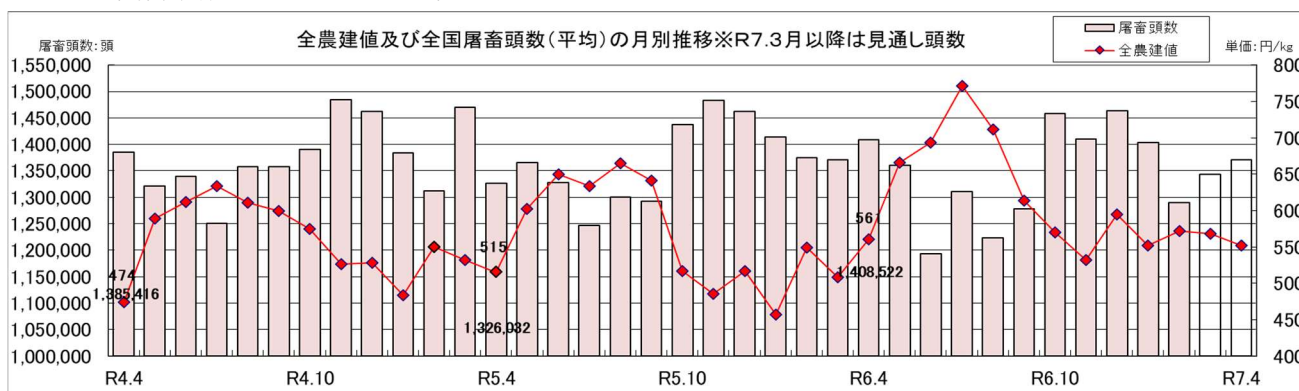


●輸入動向



●5月の動向

5月の出荷頭数については、前年同月をやや下回ると予測。



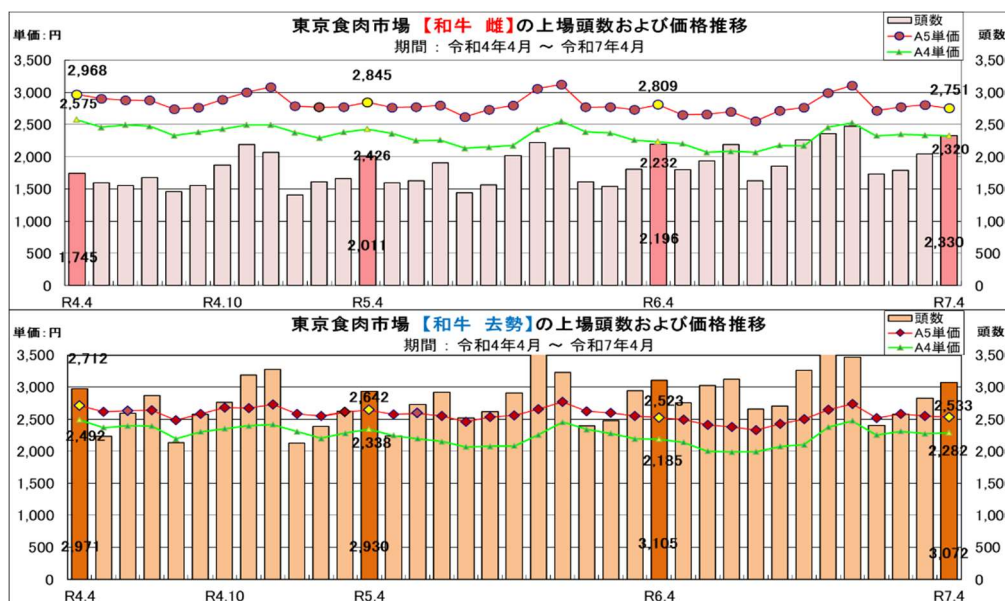
5月の相場は、連休明けに強含みの展開が予想され、底堅く推移すると予想される。

全農建値（税抜）予測レンジは580円～630円とする。

肉牛インフォメーション（4月）

●4月の動向

前半はGWに向けた引き合いの強さが期待されたがあまり伸びず、後半も和牛の上物が低調に推移し、3月と同水準に落ち着いた。交雑は和牛の代替え需要で引き合いが強まり、3月と比較して枝肉単価が100円ほど上がった。



●5月の動向予測

連休明けは補充目的で堅調な相場観が予想されるが、それ以降は連休等もないことから、和牛は弱含みの展開が予想される。交雑は横ばいで推移し、出荷頭数の減少が見込まれる乳牛は引き合いが強くなると見込まれる。

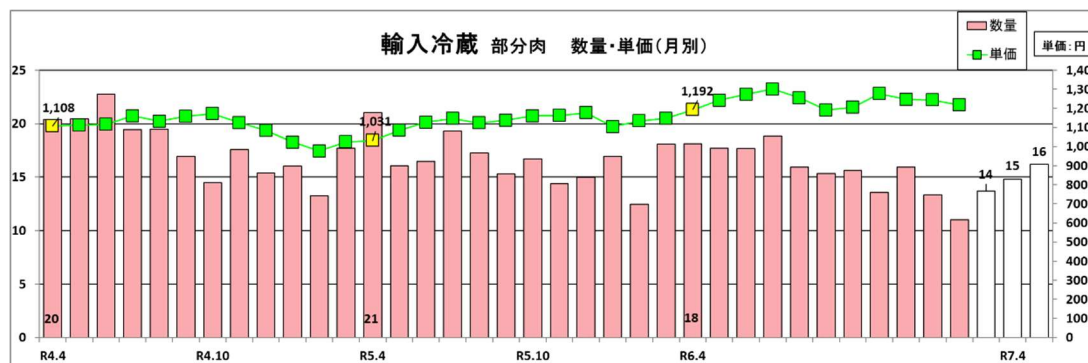
5月相場は「弱含み」の展開と予想。

和牛去勢 A5等級 2,500円（税込み） A4等級 2,300円（税込み）

交雑去勢 B4等級 1,600円（税込み） B3等級 1,500円（税込み）

●輸入牛肉

冷蔵品は、円安や現地価格の高止まりの影響等により、主要輸入先を含むほとんどの輸入先からの輸入量の減少が見込まれること等から、4月は大幅に、5月はかなりの程度、いずれも前年同月を下回ると予想する。なお、3カ月平均でも、前年同期を大幅に下回ると予測する。
(ALIC牛肉の需要予測について 4月24日)



食肉インフォメーション（4月）

●4月の動向

○牛肉

入学式や桜の花見需要により、ロイン系など高級部位の消費が期待されたが、実際には米の高騰等、物価高の影響から末端消費は鈍く、安価な部位に需要が集中した。一方、乳用牛の不足や和牛の代替として交雑牛の需要は伸びた。

○豚肉

4月は、物価高による消費者の節約志向が続いていることから、高級部位の需要は鈍く、安価な小間切れ・挽肉に需要が集中した。GW前はBBQ需要が高まり、スペアリブや肩ロースなどの販売は比較的好調だった。

輸入ポークは為替の影響で価格が上昇し、国産豚肉へのシフトがみられた。

●5月の動向予測

○牛肉

5月は焼肉需要が高まり、バラやモモの部位の需要が増加する一方、GW後は消費者の節約志向により、切り落としやスソ物が中心の販売になると予想される。

交雑牛については、和牛や乳用牛だけでなく、価格が高止まりしている輸入牛の代替需要も見込まれる。

○豚肉

5月は行楽シーズンに伴いBBQ需要が高まり、スペアリブの動きは活発になる見込み。GW後は消費者の節約志向が強まり、安価なスソ物中心の販売が予想される。

輸入豚については、トランプ大統領の関税施策により、輸入環境の変化が懸念されるため、今後の動向に注意が必要。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター 業態別取引先実績（令和7年3月期） 単位：千円、%

年度	J A どきどき	給食	仲卸関係	食肉専門店	量販店等	飲食店	合計
令和4年度3月	25,593	4,930	25,456	21,946	9,276	6,329	93,530
令和5年度3月	25,097	3,434	24,296	17,934	10,486	5,930	87,177
令和6年度3月	23,366	4,240	35,637	15,525	9,861	5,157	93,786
増減（R5-R6）	-1,731	806	11,341	-2,409	-625	-773	6,609
対比（R4-R6）	91%	86%	140%	71%	106%	81%	100%
対比（R5-R6）	93%	123%	147%	87%	94%	87%	108%